

私たちにとって、車は必需品。だからこそ・・・

エコドライブ (CO2削減に向けて！)

 <p>1. ふんわりアクセル 「eスタート」</p> <p>普通の発進より少し穏やかに発進する (最初の5秒で時速20kmが目安) だけで11%程度燃費が改善します。</p>	 <p>2. 加速減速の少ない運転</p> <p>車間距離に余裕を持つことが大切です。速度にムラがあると加速減速の機会も多くなり、市街地では2%、郊外でも6%程度 燃費が悪化します。</p>
 <p>3. 早めのアクセルオフ</p> <p>エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止されるので2%程度燃費が改善されます。</p> 	 <p>4. エアコンの使用を控えめに</p> <p>特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。エアコンを使用すると12%程度燃費が悪化します。</p> 
 <p>5. アイドリングストップ</p> <p>10分間のアイドリングで(ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合)130cc程度の燃料を浪費します。待ち合わせ、荷物の積み下ろし駐停車は気をつけましょう。</p>	 <p>6. 暖機運転は適切に</p> <p>現在販売されている、ガソリン乗用車においては、暖機運転は不要です。暖機運転5分間で160cc程度燃料を浪費します。しかし、窓ガラスの凍結などで視界の確保ができないなど、すぐには出発できないこともありますので、無理せず実施しましょう。</p>
 <p>7. 道路交通情報の活用</p> <p>カーラジオの渋滞情報などをチェックして、渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。</p> 	<p>8. タイヤ空気圧をこまめにチェック</p> <p>タイヤの空気圧が適正値より50kPa (0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2% 郊外で4%程度燃料が悪化します。</p> 
 <p>9. 不要な荷物は積まずに走行</p> <p>100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。運ぶ必要がない荷物は車から降ろしましょう。</p>	 <p>10. 駐車場所に注意</p> <p>交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらす余分な排気ガスを出させる原因になり平均時速が時速40kmから時速20kmに落ちると31%程度の燃費悪化に相当すると言われています。</p>

まず、できることから
はじめてみましょう。



出典：チーム・マイナス6%